



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年2月8日

上場会社名 株式会社 赤阪鐵工所 上場取引所 東  
 コード番号 6022 URL http://www.akasaka-diesel.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名) 杉本 昭  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役執行役員総務本部長 (氏名) 塚本 義之 (TEL)054(685)6081  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,918	△3.1	△3	—	92	△39.4	55	△48.9
2022年3月期第3四半期	5,073	△15.4	11	—	152	—	108	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	41 78	— —
2022年3月期第3四半期	81 78	— —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	12,682	7,936	62.6
2022年3月期	11,513	7,812	67.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 7,936百万円 2022年3月期 7,812百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	— —	— —	— —	30 00	30 00
2023年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
2023年3月期(予想)	— —	— —	— —	30 00	30 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	1.6	50	42.9	120	△39.1	80	△51.8	60 40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	1,540,000株	2022年3月期	1,540,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	215,261株	2022年3月期	215,787株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	1,324,510株	2022年3月期3Q	1,324,329株

(注) 当社は「株式給付信託（BBT）」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託（BBT）」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
3. その他	6
生産、受注及び販売の状況	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に緩和される中、ウクライナ情勢の長期化、資源価格や原材料価格の高騰に加え急激な円安による物価の上昇により、引き続き先行きが不透明な状況で推移しました。

海運・造船業界は、2022年前半は円安メリット等の要因から好調でしたが、後半は海上運賃が下落基調で推移しました。また、燃料費や資材価格の上昇の影響も受ける状況が引き続き継続しております。

このような状況下、当社の当第3四半期累計期間は、前年同期に比べ部分品及び修理工事等の売上は増加しましたが、舶用内燃機関の売上減少額が大きく、売上高は4,918百万円（前年同期比3.1%減）となりました。収益面では、助成金収入等の営業外収益が前年同期に比べ減少した結果、経常利益92百万円（前年同期比39.4%減）、四半期純利益55百万円（前年同期比48.9%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は12,682百万円となり、前事業年度末に比べ1,168百万円増加いたしました。主な要因は、受注高の回復による仕掛品の増加（281百万円）や複合NC旋盤・高周波誘導炉の新規設備導入による有形固定資産の増加（451百万円）及び保有株式の株価回復等による投資その他の資産の増加（482百万円）等によるものです。

当第3四半期会計期間末の負債は4,745百万円となり、前事業年度末に比べ1,044百万円増加いたしました。主な要因は、仕入価格の上昇等による買掛金の増加（285百万円）、新規設備導入等による未払金やリース債務の増加（519百万円）及び主に海外向け舶用内燃機関に係る前受金の増加（312百万円）等によるものです。

当第3四半期会計期間末の純資産は7,936百万円となり、前事業年度末に比べ124百万円増加いたしました。主な要因は、四半期期末の株価回復によるその他有価証券評価差額金の増加（108百万円）等によるものです。

この結果、当第3四半期会計期間末における自己資本比率は62.6%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年11月9日に発表いたしました数値から変更はありません。配当予想につきましても、同日に発表いたしました数値から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,561,834	2,508,982
受取手形及び売掛金	2,108,955	2,042,919
仕掛品	2,011,789	2,293,681
原材料及び貯蔵品	435,926	505,226
その他	33,362	63,380
貸倒引当金	△1,986	△1,911
流動資産合計	7,149,881	7,412,278
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,338,988	1,293,778
その他(純額)	1,495,367	1,992,503
有形固定資産合計	2,834,356	3,286,281
無形固定資産		
134,191	134,191	106,447
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,416,818	1,898,488
貸倒引当金	△21,901	△21,349
投資その他の資産合計	1,394,917	1,877,139
固定資産合計	4,363,464	5,269,868
資産合計	11,513,346	12,682,147

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,144,314	1,497,309
短期借入金	402,494	398,019
未払法人税等	56,011	25,153
賞与引当金	139,800	69,557
製品保証引当金	54,926	37,002
受注損失引当金	47,760	89,488
その他	790,879	1,406,780
流動負債合計	2,636,186	3,523,311
固定負債		
社債	120,000	100,000
長期借入金	500,566	368,391
引当金	61,653	60,260
その他	382,806	693,983
固定負債合計	1,065,025	1,222,634
負債合計	3,701,212	4,745,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,000	1,510,000
資本剰余金	926,345	926,345
利益剰余金	5,538,330	5,552,895
自己株式	△437,126	△435,951
株主資本合計	7,537,550	7,553,290
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	274,583	382,910
評価・換算差額等合計	274,583	382,910
純資産合計	7,812,133	7,936,200
負債純資産合計	11,513,346	12,682,147

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	5,073,264	4,918,293
売上原価	4,092,598	3,950,051
売上総利益	980,666	968,241
販売費及び一般管理費	969,337	971,759
営業利益又は営業損失(△)	11,328	△3,517
営業外収益		
受取利息	120	707
受取配当金	32,144	38,078
助成金収入	68,915	41,611
支払補償費戻入額	25,907	—
その他	23,084	26,141
営業外収益合計	150,171	106,538
営業外費用		
支払利息	8,044	8,405
その他	846	2,143
営業外費用合計	8,890	10,549
経常利益	152,609	92,471
特別利益		
投資有価証券売却益	29,024	—
特別利益合計	29,024	—
税引前四半期純利益	181,634	92,471
法人税等	73,329	37,138
四半期純利益	108,304	55,332

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## 税金費用の計算

税金費用については、事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く場合には、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

## 3. その他

## 生産、受注及び販売の状況

当社の事業は船用内燃機関及び部分品の設計・製造・修理・販売及びその関連事業を主体とした単一セグメントであります。

## ①生産実績

当第3四半期累計期間の生産実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	4,946,422	△1.4

(注) 金額は、販売価格によっております。

## ②受注実績

当第3四半期累計期間の受注実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	5,020,132	11.9	2,147,776	106.3

## ③販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	4,918,293	△3.1